

家庭と学校を結ぶ、保護者向け進路便り

はじめに

センター試験まであと25日になりました。最後のセンターに向けての最後の踏ん張り時です。寒い季節に入っておりますので、体調管理をよろしくお願いします。2年生、1年生もあと3ヶ月少々で後期末考査を終え、一年間の成果が出ます。こちらもラストスパートに入りますので、ご家庭の方でもよろしくご指導の程、お願い申し上げます。冬休みに入ります。ご自愛ください。

『英語民間試験導入延期!! 記述式問題は白紙に!!』

11月2日に激震が走りました。来年度からの新テストの「英語民間試験」が導入を延期する旨文科大臣から発表されました。準備を進めてきた大学入試センター、英語民間業者には大きな打撃となったのではないのでしょうか。さらに12月17日もう一つの柱と位置づけていた「記述式問題」は白紙に戻しての検討のし直しとなりました。結局、共通テストの問題傾向を変更することと、英語の配点を変更することが残った状態です。いずれも、ぎりぎりの発表で、もっとも迷惑を被ったのは、高校2年生と3年生です。十分な情報提供がなされないままに、不安ながらも準備を進めてきた2年生と、大学入学試験の大幅な変更を見越して現役志向を強めた3年生。ここからどのように気持ちを切りかえていけばと悩むところです。

そこで、3年生にはもう一度お願いしたいことがあります。「守りに入るのではなくとことん自分の第一志望にこだわって攻めに出て欲しい」ということです。「攻撃は最大の防御」ともいいます。多くが守りに入っている中、攻めの効果は非常に大きいものだと思います。決して「浪人しなさい」といっているわけではありません。十分な準備をして、自分がやりたいこと、行きたい大学をめざしてほしいということです。

まずはセンター試験です。過去5年分くらいのセンターの問題を解きましょう。そうして、センター試験の傾向と特徴を掴みましょう。センタープレ模試の結果を見て、あとどの部分をどのくらいがんばれば目標に達するかを検討してください。万全に準備すれば、最も恐れる必要がないのがセンター試験です。中間考査も終わり、いよいよ冬休みに入りますから、時間が充分にとれるはずで、ここから最後の勝負です。また、2次の個別試験の準備、私立の一般入試の準備も並行して行ってください。寒さに負けずに熱い気持ちで乗り切ってください。

3年生の保護者の皆様には、特に健康管理と栄養管理をお願いしたいと思います。受験の半分は体力です。寒さが厳しくなる折、よろしくお願いします。

また、2年生・1年生は、新テストへの不安が若干和らいだ感じがしますが、とにかく今は毎日の勉強（授業）をがんばってください。出題形式が多少変わっても、高校で学習した内容が出題されるのだから、怖れる必要はそんなにはありません。落ち着いて一步一步進んでください。そう、毎日の学校生活（部活動や行事やHR活動など）も大切に。

1・2年生の保護者のみなさまには、こどもさんに今日学校であったことを聞いてあげていただければ幸いです。そして、少しアドバイスもしていただければ幸いです。この1年もあとわずか3ヶ月少々です。春からは新しい後輩を迎え、それぞれが先輩として寝屋川高校を引っ張っていく存在となります。少し大人になったかな、少したくましくなったかな、そういう目でこどもさんを見てください。

続く? 『文高・理低』

一時の勢いはなくなりつつありますが、まだまだ「文高理低」は続いているようです。私たちはあまり好景気を実感できませんが、大企業を中心に以前好況は続いているようです。昨今人気がある大学の学問系統は、国際系・社会学系・経済系・商学系、そして工学系のようです。しかしながら、もう何年も前から企業は、卒業学部にあまりこだわらずに採用を続けています。また、大学の方も、学部こだわらない就職斡旋を進めています。このところ人気低迷している教育系の大学や学部では、教員になることをめざす学生だけでなく、教員にはならないけれど教育や発達・心理などに興味を持った学生も広く受け入れています。また、一般企業への就職にも力を入れています。ということは、「この学部に行かなければこんなところには就職できない」ではなくなってきているということです（一部、医療・看護・栄養など専門的なライセンスが必要な職種は別ですが…）。

大学というところは、今後の自分の生き方を考える場です。そのためにモラトリアム（支払猶予）が許されるのです。さまざまな可能性を持って進学していくのが一番だと思います。今はもう、理系だから就職は万全、文系はちょっと厳しいかもという時代ではありません。それぞれが自分のやりたいことを見つけるために、大学で学問（研究）だけでなく、さまざまなことにチャレンジし多くのことを学んで欲しいと思います。

うちの子は…

（「PTA 進路委員」をお願いしている保護者のみなさまに、自分の子どもさんについて語っていただいた文章です。ナマの声をお届けします。）

10月になり、学校の懇談が始まるある日、娘が主人と進路についての話をしていました。それを横で聞きながらも、私は進路についてはあまり気にしていませんでした。しかし、先日の駿台予備校の藤岡先生の講演を聞き、2年生の娘の受験はもう始まっているのだと思いました。

藤岡先生のお話の中で、「学習・受験におけるチームの役割」というものがあるというお話しが、一番印象に残りました。それは、試合で例えると、「本人が選手、学校が監督・コーチ、保護者がマネージャー」とのことでした。

このお話を聞いて、娘がどの大学を受験するのかはまだ決まっていますが、自分の納得のいく道に進めるように、陰ながら応援し支えたいと思います。

（2年：Yさん）

おわりに

今年は例年になく秋の訪れが遅いと思っていたら、いつのまにか初冬の気候になってしまいました。四季を感じる事がだんだんと少なくなってきているように思います。これも、地球温暖化の影響かと思うと、少し考えるところもあります。

先日、新テストの国語の記述問題の見送りを要求して、高校生が文科省を訪れている姿をニュースで見ました。最近の若い者は主体性が足りないなどと言われることが多いようですが、この頼もしい姿に、まだまだ日本も大丈夫だなあという思いを強くしました。正しいことは正しい。間違っていることは間違っている。そうはっきりといえる若者がどんどん増えることが期待できるニュースでした。本校でも『総合の探究』が授業に組み込まれ、少しずつ自主的に学習し調査し、そして発表するという機会が増えたように思います。今後、さらにさまざまなことに興味を抱き、積極的に物事を捉えることができる人になっていってもらえればと思います。

何か、進路に関してご質問等ございましたら、遠慮なく下記にご連絡ください。

TEL 072-821-0546(代)

文責：神原 実（研究開発室）